

広報・教育部門

応募事例名

社会インフラの大切さを子どもたちに伝える
下水道教室パネルシアター「うんちくんのだいぼうけん」

応募団体名)株式会社東海維持管理工業

応募事例の概要

- 本活動は2019年から開始。子どもたちに下水道の役割をわかりやすく伝え、興味や関心を持ってもらう教育活動です。
- 下水道は生活を支える重要な社会インフラでありながら、その役割が十分に知られていない現状があります。下水道メンテナンス会社として積み上げた知識と経験を活かし、子どもたちが楽しく学べる教育機会を提供しています。下水道への理解を深めるとともに、将来社会インフラを支える仕事への関心を育むことを目指しています。

応募事例の内容

下水道教室パネルシアター「うんちくんのだいぼうけん」

幼児期の子どもたちに対し、社員手づくりのパネルシアターを上演。「下水道への興味・関心を持ってもらう」「下水道の役割を知ってもらう」ことを目的としています。身近な生活と下水道のつながりを楽しく学び、水環境を守る意識を育む内容となっています。

ストーリー

自宅のトイレから下水処理場までの流れをテーマに、家庭の排水がどのように下水道へ流れ、きれいな水へと処理されるのかを「うんちくん」の冒険として描いています。身近な暮らしと下水道のつながりを、楽しく学べるストーリーです。



社員による製作と練習の様子



幼稚園・高等学校での上演の様子



今後の計画

現在の手作り教材のリニューアルを専門業者に依頼し、よりわかりやすく耐久性の高い教材として整備を進めています。この教材を訪問先の幼児施設へ寄贈し、各施設で継続活用できる環境を整える計画です。今後さらに、下水道教室や地域イベントを継続・拡充し、水環境や下水道の重要性を広く発信していきます。

PRポイント

2019年の活動開始以来、新型コロナウイルスの影響による中断期間を経ながらも、これまでに延べ37団体・1,280名へ実施してきました。地域に根ざした活動として継続・発展しており、訪問先施設からも高い評価をいただいています。また、幼児施設だけでなく、地域イベントや高校・大学、企業へも活動の場を広げています。幅広い世代に対し、下水道への理解を深めるとともに、暮らしを支える社会インフラの役割や大切さを伝える機会となっています。高校での出前授業をきっかけに、社会インフラを支える仕事へ興味を持った生徒が当社へ応募し、実際の採用につながった事例も生まれています。

取組に関するエピソード

取組開始当時は、幼稚園の先生方からストーリー展開や上演方法のアドバイスをいただきながら、練習と改善を重ねてきました。子どもたちの笑顔や反応に励まされ、多くの気づきを得ながら活動を続けています。今では上演できる社員も増え、地域とのつながりや、自分たちの仕事への誇りにもつながっていると感じています。

また、上演後にはアンケートを実施しており、静岡市立藁科こども園の先生より、「子どもたちが大好きなうんちを題材にし、パネルシアターで視覚的に楽しく教えてくださり、ありがとうございました。」とのお声をいただき、子どもたちの心に残る活動になっていると感じています。



名古屋こどもアカデミーにて